

# 市民有志が「上越地域の医療を守る会」を結成

「医師不足を解消して、労災病院をはじめ上越地域の医療を守れ」と、市民有志が集まり、「上越地域の医療を守る会」が19日発足しました。

この団体は、あと2年で新潟労災病院(東雲町)を閉院するという「上越地域医療構想調整会議」の発表に対して、地域の医療提供体制への問題意識に突き動かされた市民らが準備してきました。この問題意識には、「市民への説明がまったく不十分」「直江津地域には多くの診療科を備えた総合病院が必要」「そもそもの問題は新潟県の医師数が全国最下位クラスであり、その中でも上越地域は極端に少なく全国平均の6割にとどまっていること。それへの手立てが尽くされていない」などがあります。



新潟労災病院

この日、呼びかけ人代表の石田秀夫氏らが呼びかけ、32人の市民が参加して結成されました。会の代表には、石田秀夫氏が就任しました。労災病院は、昨年6月に閉院の方針が示され、12月には「2年以内に市内他病院に機能を移して閉院する」と発表されました。しかし、この病院は直江津地域に欠くことのできない病院であるだけでなく、直江津駅に近いことから、鉄道沿線の市民にとっても貴重な病院です。そこで、この病院を総合病院として守ることを誓い合いました。同時に、この病院を守るには、極端に医師・看護師が少ない現状を打開し地域全体の医療提供体制を充実させることが不可欠であることを確認しました。

そして、今後の活動方針として、まず医師不足や偏在といった問題の本質を市民に知らせるチラシを作成・配布すること、地域で署名活動などを展開して県に対する要望を行うこと、労災病院のスタッフを激励することなどを決定しました。

また、「医師さえいれば、総合病院として診療するだけの医療需要はこの地域にある」と思っているという。また、労災病院は2年後の閉院方針が打ち出されていますが、現存スタッフの移行が課題です。傳田院長は、「今後、スナップの他病院への移行や処遇については病院間の協議が中心になるだろう」と語り、今後かなり苦労することを示唆しました。

また、「医師さえいれば、総合病院として診療するだけの医療需要はこの地域にある」と思っているという。また、労災病院は2年後の閉院方針が打ち出されていますが、現存スタッフの移行が課題です。傳田院長は、「今後、スナップの他病院への移行や処遇については病院間の協議が中心になるだろう」と語り、今後かなり苦労することを示唆しました。

# 市内の3病院を訪問し、意見を交換

16日、梅谷守衆院議員の呼びかけで、市内の県議と市議の有志が上越市内にある厚生連上越総合病院、県立中央病院、新潟労災病院を訪問し、院長らと意見交換を行いました。日本共産党議員団の3人も参加しました。能登半島地震では、各病院でも被害が出ています。特に上越総合病院では、一部の工しベーターや給茶機、採尿検査器具などが使用できなくなったたり、非常灯が破損したりしました。同病院の籠島院長は、「今回の地震で一番大変だったのは津波対策」と指摘。1階の機能を急いで2階に上げたとのこと。また、労災病院は地域住民の避難場所となり、多くの市民が身を寄せ、不安な一夜を過ごしたとのことでした。意見交換で最も話題になったのは、医師・看護師不足です。どの病院でも医師不足が原因の医師の過重労働が問題になっていきます。その対策としての医師の働き方改革が、医師不足に拍車をかけることも指摘されました。

上越病院の籠島院長は、医師確保のポイントを問われ、「若い医師に勤務先として選ばれるには、働いて成長していけるかどうか、そういう研修環境が用意されているかどうか。新潟県の研修環境は魅力がない」と指摘しました。また、県立中央病院の長谷川院長は、「他県では、ここと同規模の病院では倍の医師がいる。医師不足は深刻だ」「現任全国各大学で新潟県の地域枠の医学生が学んでいる、20年後には育ってくるだろうが、根本的には医学部の定員を増やすしかない」と指摘しました。労災病院は2年後の閉院方針が打ち出されていますが、現存スタッフの移行が課題です。傳田院長は、「今後、スナップの他病院への移行や処遇については病院間の協議が中心になるだろう」と語り、今後かなり苦労することを示唆しました。

# 自民党政治終わらせる国民的大運動起こそう 日本共産党29回大会 決議採択し閉幕

15日から静岡県熱海市の伊豆学習会館で開かれていた日本共産党第29回大会は18日、大会決議案と大会あいさつ、中央委員会報告および結語を、



最終日に結語を述べる田村智子幹部会委員長

圧倒的多数で採択しました。また、大会決定を先頭に立って実践する新たな中央委員会を選出し、4日間の全日程を終えました。

自民党政治を終わらせて希望ある新しい日本をつくる道を指し示し、強く大きな党をつくる歴史的転機となる党大会は、意気高い志と固い決意がみなぎる大会となりました。

新しく選出された党幹部は次の通りです。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 中央委員会議長  | 志位和夫      |
| 幹部会委員長   | 田村智子      |
| 書記局長     | 小池 晃      |
| 副委員長(筆頭) | 山下芳生      |
| 同・書記局長代行 | 田中 悠      |
| 副委員長     | 市田忠義 緒方靖夫 |
|          | 倉林明子 浜野忠夫 |

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.821 2024年1月28日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))  
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

**わずかだが増加 しっかり注意!**

上越保健所管内  
新型コロナウイルス感染症  
感染者定点報告数

12月25日~12月31日	12.50 (県6.16)
1月1日~1月7日	5.88 (県5.62)
1月8日~1月14日	8.88 (県6.65)